

小学校第6学年 外国語科学習指導案

学習指導者 高松市立円座小学校 長曾 博子

1 単元名 「Unit4 Let's see the world.」 (NEW HORIZON Elementary English Course 6)

2 単元計画(総時数 8 時間【本時 6／8】)

- おすすめの国を紹介するために必要な表現を知り、行きたい国を尋ねたり、そこでできることを伝えたりする活動を通して、表現に慣れ親しむ。(3時間)
- 相手に紹介する国の魅力が伝わるような紹介文の内容や資料を考える。(2時間)
- 相手の興味や好みを聞き出す質問を取り入れて、紹介する国の魅力が相手により伝わるように紹介文を工夫し、実際に紹介する活動を行う。(3時間)

3 授業の見どころ

スモールトーク(帯活動)を通して、児童は相手を意識して会話することの大切さ・楽しさに気付き始めている。その気付きを生かして、本時では、より興味をもって相手に聞いてもらうためには、どのような紹介にするとよいかを考える。「表現をよりよくしたい!」と、児童が活動の必要感をもてるように、導入の手立てを工夫する。

4 本時の学習指導

(1) 目 標

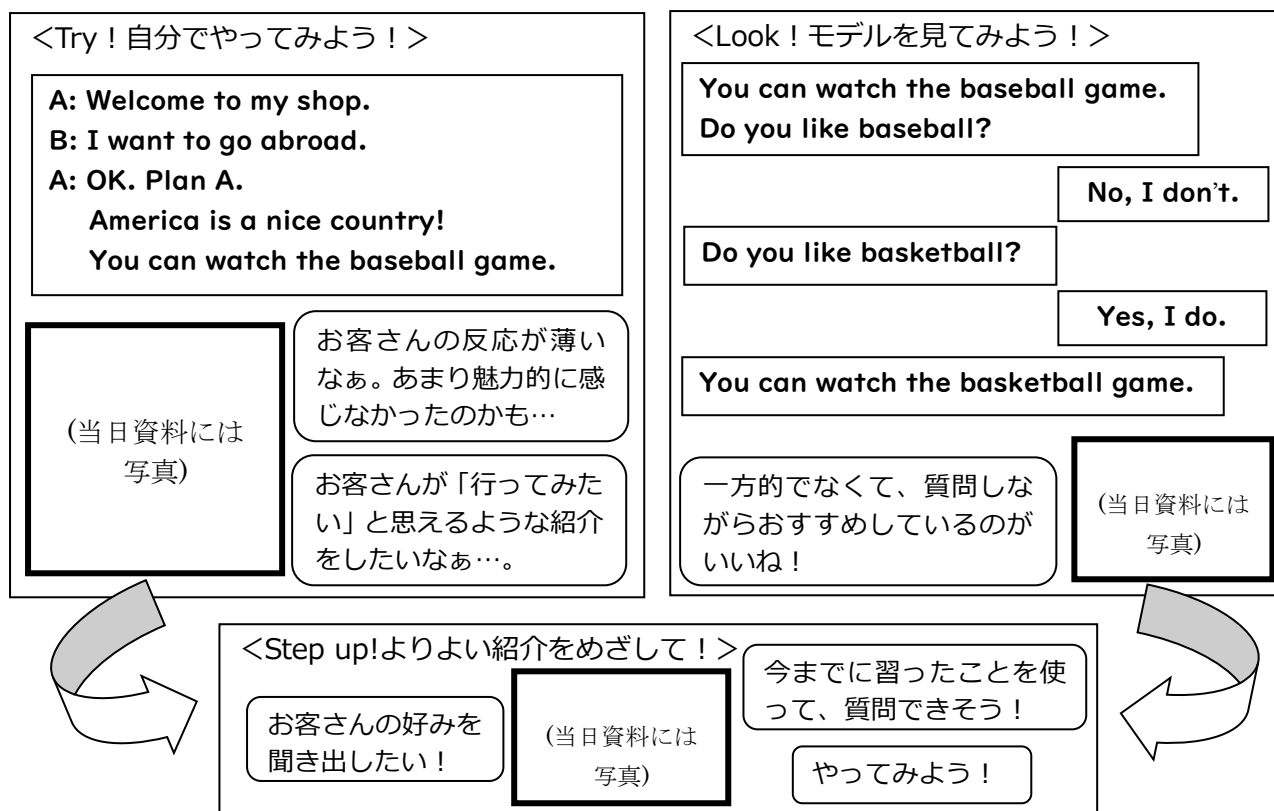
相手の興味を引き出すための効果的な質問を考え、相手意識をもって紹介をすることができる。

(2) 学習指導過程

学習活動と児童の意識	教師の指導
授業づくりのポイント 1 学習課題を確認する。 資料も準備したし、伝える内容も考えたし、相手に自分のおすすめの国のよさが伝わると思う! 2 おすすめの国を紹介する。(1回目) 自分が考えた紹介文だけでは足りない気がする。質問したいことがあったけれど、表現が分からない。 自分が興味ないことを話していたから、その国のよさが伝わらなかったな…。	○授業の流れや、今までの学習で使った表現が確認できるように板書をする。 ○Warm up や Small talk の中に、本時に使える表現を入れ、自信をもって活動できるようにする。 ○店員役が一方的に伝えていることに気付けない場合は、相手の好みに合うような紹介をすることが大切だと気付けるように教師がモデルを見せる。 ○客役をした児童にも話を聞き、相手の思いを聞いて紹介をすることの大切さに気付けるようにする。その気付きを、本時のめあてにつなげる。 ○旅行会社に行った際、店員と客がどのような会話をするか、イメージする時間を設定することで、店員は客の希望を大切にしながら、提案していることに気付けるようにする。
友だちの興味や好みを聞き出す質問を取り入れて、おすすめ国を紹介しよう!	
3 紹介文を生かす質問を考える。 「～は好きですか?」という表現は、どの国を紹介するときにも使えそう! 「Do you like ~?」だね! おすすめ国を紹介する。(2回目) 自分の考えた質問は友だちに伝わるかな? 何人かの友だちに質問してみよう! 改善点について全体で話し合う。(中間指導) 「Can you ~?」の表現を使うと、得意なことが分かるから、相手の興味に合わせて国を紹介できる! 4 本時の学びについて振り返る。 質問をすることで、友だちの好みに合わせて自分のおすすめの国を紹介できた! 友だちの好みに合った紹介をするために、この国の魅力をもう少し調べて、内容を付け足したいな!	○情報を整理しやすいように、紹介したい2つの国の中から、1つを選び、質問を考えるようにする。 ○表現を調べる方法は、「友だちに聞く」「先生に聞く」「インターネットで調べる」「教科書で調べる」などの中から、自分に合ったものを選択する。 ○中間指導を行い、児童が工夫した点やつまづいた点について全体で共有し、解決する時間を設ける。 ○相手に伝わるかどうかを確認するために、質問ができたなら、友だちに紹介する活動を設定する。 ○「質問を考える→交流→中間指導→交流」と表現を見直す活動と交流活動を繰り返し行い、よりよい内容や表現を考えられるようにする。 ○学習活動の手順が分かるように板書し、児童が安心して活動できるようにする。 ⑦既習表現等を用いて、相手の興味を引き出す質問を考え、尋ねることができる。 ○1回目の紹介と比較して、どのように変化したか振り返るようにする。

5 「学びがいのある課題」の設定に向けて

(1) 児童と一緒に課題を設定する 一児童の実感を大切に、スモールステップでー



(2) 普段の Small Talk を生かして 一児童の実感を大切に、その延長線上にある活動ー

外国語の学習では、毎時間スモールトークを設定している。特に今年度は、相手の言ったことに反応を返したり、質問したりすることを意識して取り組んでいる。児童は相手意識をもって会話をする中で、会話が広がったり、相手について深く知ったりすることに気付き、昨年度より楽しく会話ができてきていることを実感している。

1 テーマ選び

- ★児童が友だちに「聞きたい!」と思うもの
例: What (自分で決める) do you like?
- ★前時で学習した表現を使うもの
例: What did you do yesterday?
- ★時期に合ったもの
例: When is your birthday?(4月)
How was your winter vacation?(1月)

2 活動時間

活動時間は、3～4分に設定する。最近は、追加の質問をしているため、4分に設定している。必要であれば、途中で止め、発音や表現の確認をして再開するようにしている。

3 ワークシート

ワークシートの下には、出席番号が書かれている。会話を楽しんだら、「What's number?」と聞き、友だちの番号に○をつける。単元終了までに、クラス全員とすることを目標とする。担任とALTの番号も入れる。

Unit4 Let's see the world. Name ()

	f	f	f	f	f
新しい単語や表現を覚えた。					
新しい単語や表現を使って、会話ができた。					
相手が分かりやすい工夫することができた。					
英語を聞いて楽しめた。					

【児童のふりかえりより】
 いつもなら、食べたものを聞いて終わりだけど、「何うどん食べた?」「トッピングは?」などいろいろな質問をすることで、友だちのことをさらに知ることができて、うれしかった!

【児童のふりかえりより】
 「どこで食べたの?」の聞き方が分からなかったけれど、「Where?」だけでも伝わると分かった。イントネーションやジェスチャーも大切だと思った!

【月 日】

児童全員と担任、ALTの番号

◎Challenge Small Talk◎

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				